

【平成21年3月期第2四半期(中間)決算記者会見資料】

①契約の状況等

		2008年9月期		08年3月期	07年9月期	
			08/3期比			07/9期比
新契約年換算保険料	(百万円)	19,681	—	125.1%増	12,739	8,744
うち第三分野	(百万円)	—	—	—	—	—
保有契約年換算保険料	(百万円)	115,921	16.7%増	17.9%増	99,358	98,287
うち第三分野	(百万円)	5,789	5.3%減	9.5%減	6,115	6,394
保険料等収入	(百万円)	121,350	—	37.8%増	134,097	88,081
うち個人保険分野	(百万円)	117,529	—	41.5%増	125,960	83,079
うち団体保険分野	(百万円)	1,258	—	54.9%減	4,900	2,790
新契約高	(百万円)	105,997	—	65.9%増	93,388	63,901
保有契約高	(百万円)	2,199,757	2.7%減	10.0%減	2,261,006	2,445,503
解約・失効高	(百万円)	71,849	—	19.5%減	165,582	89,266
解約・失効率	(%)	3.18	—	0.36ポイント低下	6.56	3.54

※保険料等収入以外は個人保険+個人年金保険 ※3月期比、9月期比は増減率
 ※解約・失効は、失効後復活契約を失効と相殺せずに算出 ※保険料等収入は損益計算書ベース
 ※保険料収入のうち個人保険分野は個人保険+個人年金、団体保険分野は団体保険+団体年金の合計保険料
 ※年換算保険料の対象は個人保険と個人年金。年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法
 に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額等(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額等)。

②資産の状況等

		2008年9月末		08年3月末	07年9月末	
			08/3末比			07/9末比
総資産	(百万円)	1,100,845	4.9%増	1.2%減	1,048,962	1,113,677
実質純資産額	(億円)	539	15.5%減	15.9%減	637	641
実質純資産額/一般勘定資産	(%)	11.6	2.3ポイント低下	2.6ポイント低下	13.9	14.2
ソルベンシー・マージン比率	(%)	661.0	259.7ポイント低下	430.7ポイント低下	920.7	1,091.7

※3月末比、9月末比は増減率(実質純資産額/一般勘定資産及びソルベンシー・マージン比率は増減ポイント)

③基礎利益・逆ざや

		2008年9月期		08年3月期	07年9月期	
			08/3期比			07/9期比
基礎利益	(百万円)	△13,199	—	288.8%増	△18,183	△3,395

※9月期比は増減率

		2009年3月末の予想	2008年3月末の実額
逆ざや額	(百万円)	3,000	4,103

④準備金

		2008年9月末		08年3月末	07年9月末	
			08/3末比			07/9末比
責任準備金(除く危険準備金)	(百万円)	1,048,399	57,838増	3,333減	990,560	1,051,732
うち一般勘定(除く危険準備金)	(百万円)	412,995	11,862増	21,329増	401,133	391,665
うち特別勘定(除く危険準備金)	(百万円)	635,403	45,976増	24,662減	589,427	660,066
価格変動準備金	(百万円)	424	10増	20増	414	404
危険準備金	(百万円)	16,093	2,505増	3,981増	13,587	12,111
うち危険準備金Ⅰ	(百万円)	5,055	503増	73増	4,551	4,981
うち危険準備金Ⅱ	(百万円)	—	—	—	—	—
うち危険準備金Ⅲ	(百万円)	10,628	2,002増	3,860増	8,626	6,768
うち危険準備金Ⅳ	(百万円)	409	—	47増	409	361
危険準備積立金	(百万円)	—	—	—	—	—
価格変動積立金	(百万円)	—	—	—	—	—

※08年3月末の危険準備積立金・価格変動積立金は、剰余金処分後の残高を記載。
 ※3月末比、9月末比は増減実額

⑤含み損益

		2008年9月末			08年3月末	07年9月末
			08/3末比	07/9末比		
有価証券	(百万円)	△307	1,777減	612増	1,470	△919
うち国内株式	(百万円)	—	—	—	—	—
うち国内債券	(百万円)	△196	1,745減	805増	1,549	△1,001
うち外国証券	(百万円)	0	5増	11増	△4	△11
不動産	(百万円)	—	—	—	—	—

※3月末比、9月末比は増減実額

⑥運用実績と計画

		上期実績	下期計画
国内株式	(百万円)	0減	運用計画なし。
国内債券	(百万円)	7,620減	横ばい。
外国株等	(百万円)	18減	運用計画なし。
外国債券	(百万円)	運用実績なし。	運用計画なし。
不動産	(百万円)	5減	運用計画なし。

⑦資産の損益がゼロになる水準

		2008年9月末時点	
国内株式(日経平均)	(円)	上場株式を保有していないため算出しておりません。	
国内株式(TOPIX)	(ポイント)	上場株式を保有していないため算出しておりません。	
国内債券	(%)	1.6	
外国証券	(円)	103	

※株式は日経平均及びTOPIXにフル連動させ、株式の評価基準にあわせて算出

※国内債券は10年新発国債利回り換算し、小数点第1位まで算出

※外国証券はドル円換算にて算出

⑧2009年3月期の業績見通し

		2009年3月期の予想
保険料等収入	(百万円)	310,000
基礎利益	(百万円)	△21,000
保有契約高	(百万円)	2,320,000
保有契約年換算保険料	(百万円)	130,000

⑨銀行との資本持ち合いについて

i 銀行からの拠出(総額)

		2008年9月末
基金(株式)に対する拠出	(百万円)	該当なし
劣後ローン等	(百万円)	該当なし

※銀行からの拠出の劣後ローン等は、劣後ローン及び劣後債

※銀行からの拠出の株式は9月末の時価

ii 銀行への拠出(総額)

		2008年9月末
保有している銀行株(時価総額)	(百万円)	該当なし
劣後ローン等	(百万円)	11,997

※基金拠出者以外の金額も含む

※銀行への拠出の保有している株式には、優先株を含む。(各行・グループの海外現法への出資は除く)

※銀行への拠出の劣後ローン等は、劣後ローン、劣後債及び優先出資証券

⑩職員数

		2008年9月末			08年3月末	07年9月末
			08/3末比	07/9末比		
営業職員	(人)	—	—	—	—	—
内勤職員	(人)	344	1.5%増	10.6%増	339	311

※3月末比、9月末比は増減率

①銀行窓販の状況

			2008年9月期		08年3月期	07年9月期	窓販開始以来実績 02年10月～08年9月
				07/9期比			
変額年金保険	新契約件数	(件)	16,454	138.0%増	10,840	6,912	64,133
	金額(収入保険料)	(百万円)	105,431	97.0%増	81,281	53,524	636,593
定額年金保険	新契約件数	(件)	—	—	—	—	—
	金額(収入保険料)	(百万円)	—	—	—	—	—

※銀行には信用金庫を含みます。

※定額年金保険の取り扱いはありません。

			2008年9月期		08年3月期	07年9月期	窓販開始以来実績 05年12月～08年9月
				07/9期比			
一時払終身	新契約件数	(件)	—	—	—	—	—
	金額(収入保険料)	(百万円)	—	—	—	—	—
一時払養老	新契約件数	(件)	—	—	—	—	—
	金額(収入保険料)	(百万円)	—	—	—	—	—

※一時払終身保険及び一時払養老保険の取り扱いはありません。

			2008年9月期	窓販開始以来実績 07年12月～08年9月
全面解禁商品	新契約件数	(件)	—	—
	金額(収入保険料)	(百万円)	—	—

※全面解禁商品の取り扱いはありません。

その他質問項目(平成20年9月)

○「不払い問題」に対する主な再発防止策

1. 業務改善に向けた主な再発防止策

保険金等の適切なお支払いに向けて、以下の3点を柱とする保険金等支払管理態勢の充実を図っています。

- ①支払管理部門の態勢整備
- ②支払監理部の設置による支払監理態勢の強化
- ③お客さまの視点に立った業務運営の拡充

2. 保険金等の支払管理態勢の強化に向けた今後の取組み(継続取組み項目を含む)

保険金等の適切なお支払いに向けて、今後もいっそう「お客さまの視点に立って保険金等についてお支払いできるものは全てお支払いする」という取組み方針のもと、引続き以下の取組みを実施してまいります。

- ①お客さまの視点に立った保険金等のお支払いに向けた規程等の整備
- ②「支払監理委員会」による保険金等のお支払い態勢の監督強化
- ③お客さまの視点に立ったご請求案内に向けた内部監査の強化
- ④「ご契約内容のお知らせ」による保障内容の定期的なお知らせ
- ⑤「保険金等をお支払いできる事例・お支払いできない事例」の作成
- ⑥保険金等の請求・照会窓口の一元化及びお客さまへのきめ細やかな保全案内
- ⑦失効したご契約に対するお客さま利便向上策の実施
- ⑧お客さまが購入した商品について複数の保険金等の請求を同時に行いやすくするような商品の開発
- ⑨約款の平明化及び簡素化

○証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況

		2008年9月末			
		時価		含み損益	実現損益
		2008年3月末			
証券化商品等合計	(億円)	0	—	△0	0
(うちサブプライム関連全体)	(億円)	(—)	(—)	(—)	(—)
SPEs一般	(億円)	—	—	—	—
CDO	(億円)	0	—	△0	0
その他サブプライム・Alt-AIエクスポージャー	(億円)	—	—	—	—
CMBS	(億円)	—	—	—	—
レバレッジド・ファイナンス	(億円)	—	—	—	—
RMBS	(億円)	—	—	—	—
クレジットリンクノート/ローン	(億円)	—	—	—	—
その他	(億円)	—	—	—	—

【特記事項】

実現損益には、利息配当金等収入などを含んでおります。